

# 2

## 山口県の地震・津波

◆ 山口県は、これまで地震による被害は比較的少ないとされていたが、過去には、大規模地震により大きな被害があったとの記録もある。

また、近年は、西日本においても地震の活動期に入ったと言われており、山口県でも、平成9年に震度5強を、平成13年に震度4の揺れを観測する地震が発生し、被害が出ている。

◆ 山口県に影響のある地震としては、30年以内に70%~80%の確率で発生されるとされている「南海トラフ地震」のほか、「安芸灘~伊予灘の地震」、「県内の活断層による地震」、「日本海側の地震」がある。

### [南海トラフ地震]

南海トラフを震源とし、過去、概ね100年から150年周期で発生しており、最大マグニチュード9クラスの巨大地震が発生した場合、山口県においては、震度6弱、瀬戸内海沿岸に最大3.8mの津波が来ると想定されている。

### [安芸灘~伊予灘の地震]

これまでも50年~100年の周期でマグニチュード7クラスの地震が発生しており、山口県においては、最大震度6弱の揺れが想定されている。

### [活断層による地震]

山口県には、10以上の活断層が存在しており、これらの活断層が動いた場合、直下型の地震が発生し、最大震度7~6弱の大きな揺れが想定されている。

### [日本海で想定される地震]

最大で4m程度の津波をおこすような地震が発生すると想定されている。

